

個人のお客さま対象

人間ドック料金割引を実施します！

4月～5月の間、期間限定の割引を実施します。

※会社等を通さず、個人で受診していただく方が対象

人間ドック
基本料金（日帰り）

〔通常〕¥44,000（税込）⇒
¥33,000（税込）

健康保健組合・各企業との契約がある場合、契約内容に準拠します。
詳細については、健康管理センターまでお問い合わせ下さい。

健康管理センター 直通電話 **0742-43-8868**
※日祝除く9:00～16:30まで

人間ドックのインターネット予約受付中！（来年度は準備中）

個人で
受診の方

一般の方を対象（会社を通さず個人で受診される方のみ）にインターネット予約を
開設しております。詳細はホームページをご覧ください。



社会医療法人 松本快生会

西奈良中央病院

救急告示病院
24時間体制

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15

☎ 0742-43-3333 📠 0742-43-8607

詳しい情報はURL・QRコードからご確認ください
<https://www.nishinarachuo.or.jp>

診療時間 9:00～12:00（受付時間 8:30～11:30）

休診日 第2、第4土曜日・日曜日・祝日
年末年始（12月29日～1月3日）

介護老人保健施設 大和田の里

〒631-0056 奈良市丸山2丁目1220-163
TEL: 0742-51-6003 FAX: 0742-51-6013

- 入所サービス ●短期入所療養介護
- 通所リハビリテーション
- 収容入所者数：82名（短期入所者を含む）
- 収容通所者数：20名

訪問看護ステーションなでしこ

〒631-0041 奈良市学園大和町5-16
SENビル1F
TEL: 0742-47-6012 FAX: 0742-47-6267

西奈良中央病院 ケアプランセンター

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16
マツヨシビル2F
TEL: 0742-43-3013 FAX: 0742-43-3731

西奈良中央病院附属 丸山診療所

（大和田の里内に併設）
TEL: 0742-51-7336 FAX: 0742-51-7128

診療科目／内科・循環器科
診療時間／9:00～12:00
休診日／火曜日・木曜日
第1・第3・第5土曜日
日曜日・祝日・年末年始

訪問看護ステーションさわやか

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16
マツヨシビル2F
TEL: 0742-40-1600 FAX: 0742-40-1601

こぐま保育園

〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-16
マツヨシビル1F



※7:15～8:15 一部通行止区間がございます。

こころと心をつ結び信頼と安心をお届けする情報誌

ご自由に
お持ち帰りください。

はあ〜と通心

2024

冬号

NO.61

「心の医療」をもって地域住民に貢献する。

西奈良中央病院の基本方針

- 奈良市西部地域の中核病院として、地域の医療・介護・福祉施設と連携を密接にし、地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに住民の生命を守り、健康の増進を図ります。
- 私たちは、地域に住む人々に、医療における安全を重視し、信頼と安心を提供できる病院を目指します。
- 私たちは、「病気を診るだけでなく人を癒す病院」として患者と家族の心を思いやり、共に考え、患者中心の医療を目指します。
- 私たちは、地域住民が安心して暮らせるよう、救急医療体制の充実を図ります。
- 私たちは、自己研鑽に励み、全職員が一丸となってチーム医療を実践し、良質な医療の提供に努めます。
- 私たちは、優れた医療人を育成し、明るく働きがいのある病院を創ります。

新年のご挨拶

新年
謹賀

社会医療法人 松本快生会
西奈良中央病院
院長 中山 雅樹

あけましておめでとうございます。皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの5類感染症への移行を受け、感染予防に関する様々な制限が緩和されたことにより、少しずつではありますが、以前の様な日常生活に戻りつつあることを実感出来た年でありました。

また、当院におきましては、安心・安全でより質の高い医療の提供を図るべく、今回で4回目となる「病院機能評価」及び「人間ドック機能評価」を受審し、高評価のもと無事認定を更新することが出来ました。この結果に驕ることなく、引き続き医療体制の充実に努めて参りたいと考えております。

一方、医療現場では、依然コロナ感染は治まることはなく、更にインフルエンザ等の感染症も猛威を振るう厳しい状況が続いております。この様な状況の中、当院といたしましては、緩めることなく感染対策を継続することで、これまで同様に患者様の安全を最優先とした病院運営に注力して参ります。

今後も、「心の医療をもって地域住民に貢献する」の理念のもと、皆様方の信頼にお応えすべく、「安心・安全で質の高い医療」の提供を目指し、職員一同力を合わせ前進して参る所存です。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆様にとって本年が幸多き年となりますようご祈念を申し上げ、新年のご挨拶といたします。

公益財団法人日本医療機能評価機構認定
人間ドック健診施設機能評価認定

社会医療法人 松本快生会
西奈良中央病院

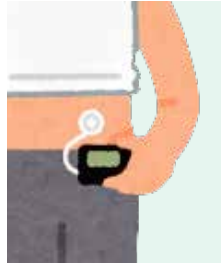
〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15
TEL 0742-43-3333 HP <https://www.nishinarachuo.or.jp>

インスリンポンプ・持続グルコース測定器をご使用中の方へ

インスリンポンプ（CSII）並びに持続グルコース測定器（CGM・FGM）を使用する糖尿病患者数は年々増加しており、それに伴い、CSII・CGM・FGMを使用中の患者さんがX線、CT、MRIなどの検査を受ける機会も増加しています。そこで取り扱いに関する注意事項を紹介します。

■インスリンポンプ（CSII）とは…

インスリンを持続的に注入する小型のポンプです。糖尿病患者さんが血糖値のコントロールをするために使用されます。細かくて柔らかい細い管（カニューレ）を皮下に留置し、その管から患者さんの状況に応じて必要なインスリンを少量ずつ注入することができます。



■持続グルコース測定器（CGM・FGM）とは…

糖尿病患者さんの血糖管理をサポートすることができる機器です。CGM（持続グルコースモニタリング）は、皮下に刺して留置した細いセンサーにより皮下の間質中の糖濃度（グルコース濃度）を連続的に測定します。またFGM（フラッシュグルコースモニタリング）は、CGMと同様に皮下にセンサーを留置してセンサーにリーダーをかざすことで皮下の間質中の糖濃度（グルコース濃度）を測定することができます。



放射線検査やMRI検査を受ける患者さまへ大切なお願い



**インスリンポンプ（CSII）、
持続グルコース測定器（CGM・FGM）
を装着したままでは
放射線検査（X線検査、CT検査、
骨密度検査、マンモグラフィ等）や
MRI検査を受けていただくこと
が出来ません。**

機器を装着したままではこれらの検査を実施した際の安全性が確立されておらず、誤作動や故障等を引き起こす恐れがあるためです。放射線検査やMRI検査を行う前に取り外していただく可能性があり、取り外しができない場合は検査中止となります。

ご使用中の患者様は検査前にスタッフまでお申し出ください。



つくみましょう週に2日は休肝日



摂取したアルコールの代謝率

休肝日とは、お酒を飲まずに肝臓を休ませる日のことをいいます。お酒を習慣的に飲んでいる人は、休肝日を意識していても、ついつい飲んでしまう事も多いと思います。しかし、摂取したアルコールは胃で20%、小腸で80%吸収された後、大部分が肝臓で代謝されます。肝臓はアルコールの代謝だけではなく、食べ物を消化するために必要な胆汁の合成・分泌やタンパクの合成、栄養の貯蔵など様々な役割を果たしています。肝臓は体にとって重要な働きをしているため労ることが大切です。

■肝臓を休ませるメリットは？

○肝臓を労ることができる

アルコールの分解は肝臓で行われるため、飲酒により肝臓に負担がかかります。休肝日を設けて負担を減らし、肝臓に良い物を積極的に摂取しましょう。



○アルコール依存を防げる

アルコールには依存性があり、習慣的に飲酒を続けていくうちに、飲酒量が増えていく可能性があります。休肝日を設けることにより、アルコール摂取が習慣とならないようにコントロールできます。また、アルコール依存症の発見にもつながります。依存症や予備群であれば、休肝日に不眠やイライラ感、発汗などが起こることがあります。知らないうちにアルコール依存症になっているという可能性もあるため、休肝日の体調を確認してみましょう。



生活習慣病のリスクは？！

飲酒によって様々な生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）が引き起こされる可能性もあります。

高血圧

少量でも血圧を上昇させ、飲酒量が増えれば増えるほど、血圧が上昇しやすくなる傾向にあります。血圧が上昇して高血圧になることにより、脳出血のリスクが増加します。

糖尿病

過剰なアルコール摂取はカロリー過多や血糖値上昇につながり、糖尿病を引き起こす原因となります。

脂質異常症

中性脂肪が増える可能性があるため、脂質異常を起こすこともあります。

生活習慣病にならないためにも、純アルコール摂取量は、男性の場合で約40g/日以下、女性の場合で約20g/日以下を意識しましょう。

純アルコール
20g相当酒量

定期的に健康診断を受けていますか？生活習慣病を出来るだけ早めに発見するため年に1度は健康診断の受診をお勧めします。

